



シャツキリ  
とした白色は  
健全で、

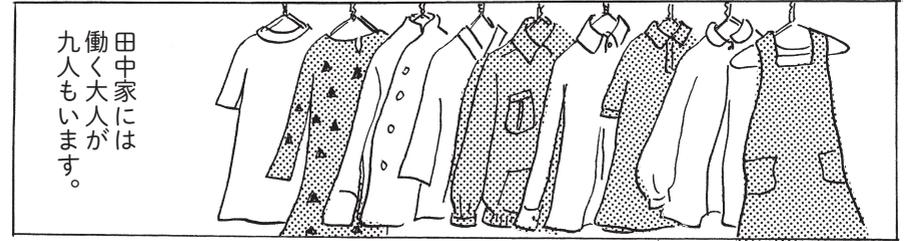
ただ、  
親の敵のように  
よく洗う。



六回目の麺が  
ゆであがった  
ころ



みんな  
ためらいなく  
手を伸ばす。



田中家には  
働く大人が  
九人もいます。



居間には  
いつも誰かいて、

いつも  
誰かいません。



ちらほらと  
ごちそうさまが  
聞こえます。



みんなに  
相談しよう



はあ…



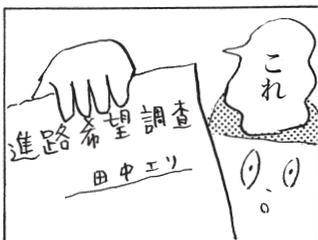
お母さんも  
いただこう  
かしら

さーて

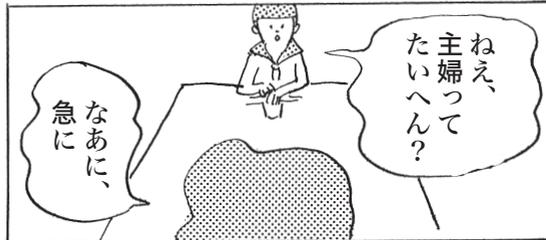


聞け  
なかった

誰にも



これ



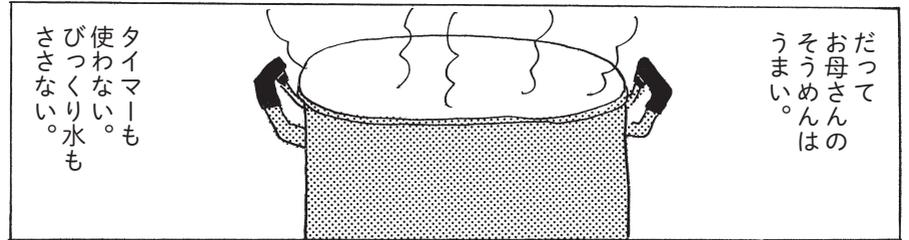
ねえ、  
主婦って  
たいへん？

なあに、  
急に



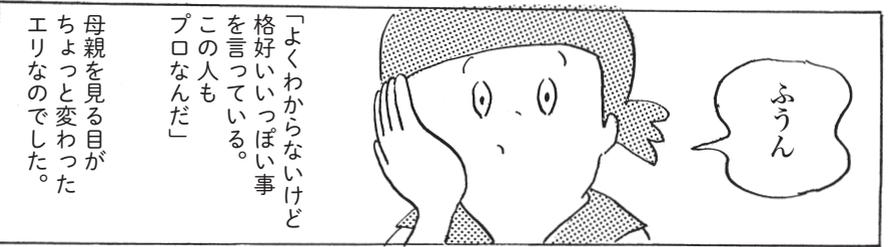
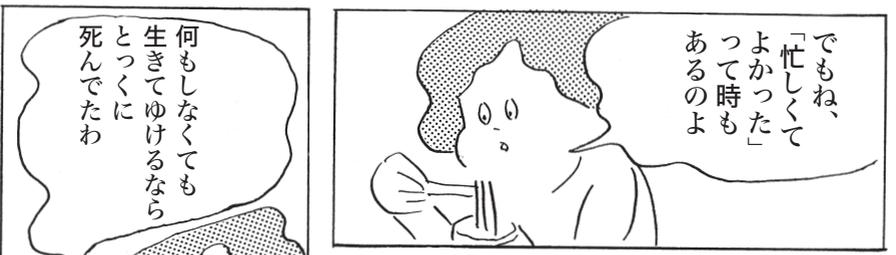
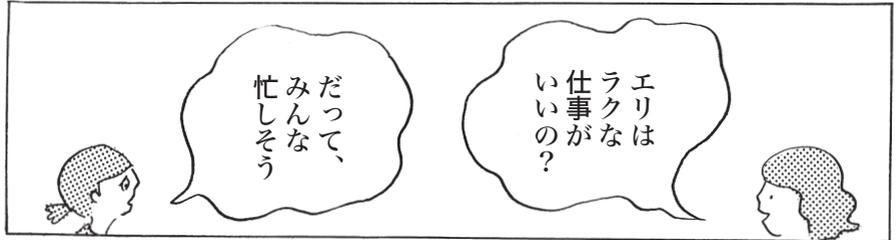
全員がそろって  
昼食は年に三度  
あるかないか。

そんな日は  
夏でも冬でも  
そうめんです。



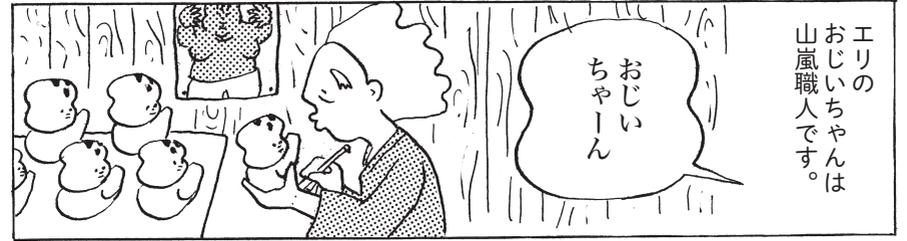
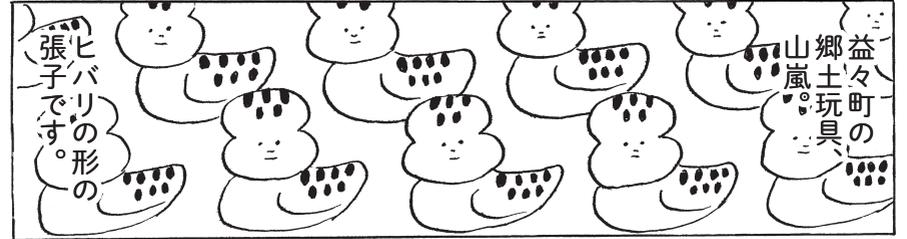
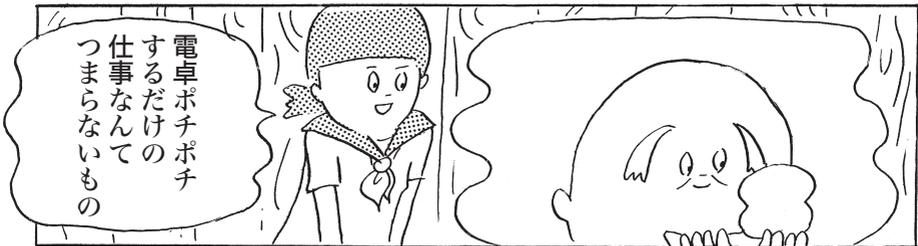
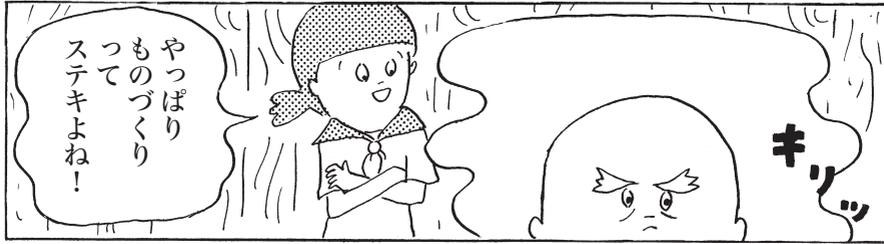
だって  
お母さんの  
そうめんは  
うまい。

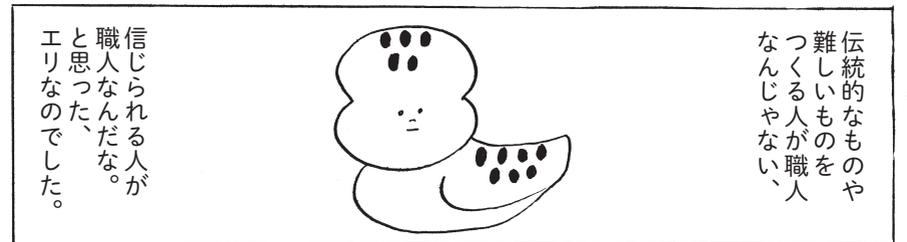
タイマーも  
使わない。  
びっくり水も  
ささない。



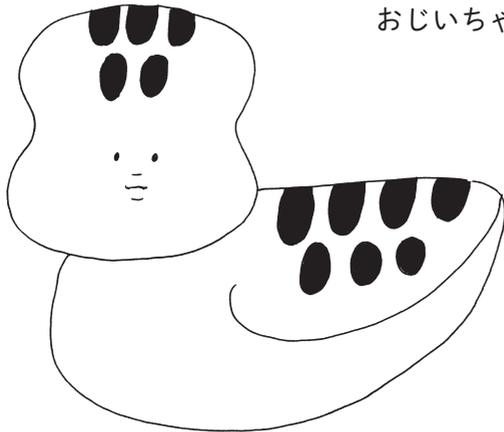
「よくわからないけど格好いいっぽい事を言っている。この人もプロなんだ」  
母親を見る目がちよっと変わったエリなのでした。







アイス  
おいしいねー  
もう1個...  
おじいちゃんずるい！

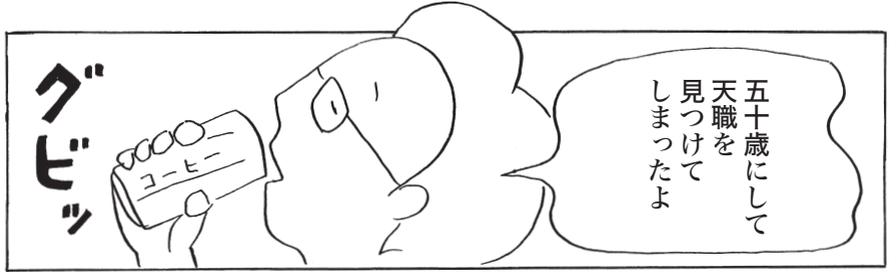






コツコツが  
苦じゃない  
タイプって  
いるのよねー

エリと  
お父さんて  
似てるわー



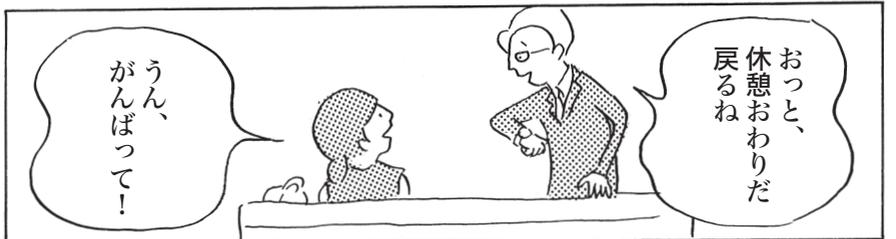
五十歳にして  
天職を  
見つけて  
しまったよ

ゴク  
クツ



でもね、今  
Webの  
勉強して  
るんだ

広報部で  
Web事業部  
を立ち上げる  
って  
聞いたから！



おっと、  
休憩おわりだ  
戻るね

うん、  
がんばって！



自分では  
決して選ばない  
けれども

ゴク  
クツ

どうしようもなく  
向いている仕事  
というのがあるらしい。



しかし、  
それにとられる  
必要はない。

お父さんに  
パソコンを  
教えて  
あげよう

エリな  
と思う  
のでした。